

徳島大学創立60周年記念事業実施

徳島大学では、創立60周年を記念し、教育・研究の更なる発展と社会貢献を目標に、『輝く未来をつくる徳島大学60』のキャッチフレーズのもと、記念式典・記念祝賀会・記念講演会、記念音楽会や記念美術展のほか、各学部・各学部のホームカミングデー等、多彩な行事を開催しました。おかげさまで、多数の皆様のご参加・ご協力をいただき、いずれの行事も大盛況のうちに終了することができました。本誌「めぐりが」にご協力しました。

60周年記念事業



創立60周年記念式典の様子



式辞を述べる青野学長



祝辞を述べる高井政務官



祝辞を述べる齋藤後援会長

11月2日(月)ホテルクレメント徳島で、高井文部科学大臣政務官、飯泉徳島県知事、徳島県選出国議員など二百七十人が出席し、盛大に開催されました。式典は、徳大合唱団リーダークライスのコーラスに始まり、青野学長の式辞に引き続き、高井政務官、飯泉知事、海外交流協定校、齋藤事業後援会長から祝辞が述べられました。また、徳島大学の教育研究の発展に多大な貢献をした企業に対し、青野学長から感謝状が贈呈されました。

祝賀会では、武田元学長らの来賓スピーチ後、同窓会代表の仁木青藍会会長の発声で乾杯が行われ、和やかな雰囲気の中で歓談が進み、開放実践センター田中教授らによる「阿波踊り体操」も披露され、出席者全員で60周年を盛大に祝いました。



シンボリストリート全貌



テープカットする青野学長ら



憩いの場「カフェ Sanjyo」

シンボリストリート完成

常三島キャンパスで工事が進められていました「シンボリストリート」(工学部側)が完成し、11月12日(木)に完成記念式典が行われました。

このシンボリストリートは60周年を記念して作られたもので、工学部共通講義棟のLED大時計から総合科学部に伸びており、現在は総合科学部側でも工事が行われています。

青野学長からは「学生や職員の憩いの場として利用していただきたい」との挨拶があり、テープカットが行われました。

また、このストリートに面してカフェ「Sanjyo」が同時オープンし、現在おおいに賑わっています。

記念美術展シリーズ



河崎良行彫刻展 (7月)



徳島大学春暁書作展 (5月)



平木美鶴美術展 (10月)

賀川豊彦を語る林啓介氏講演会

12月9日(水)徳島大学常三島キャンパス内で、徳島の偉人「賀川豊彦」について語ると題して、徳島日独協会副会長の林啓介氏を招き、講演会が行われました。

近代日本の代表的社会運動家であり、「死線を越えて」の著者でもある賀川豊彦の平和への願いを込めた生涯について、林氏が熱く語られました。

会場には、総合科学部の学生も多数参加しており、時代を経てもなお訴えるものがある偉人の話に、時間を忘れて熱心に耳を傾けている姿がとても印象的でした。



講演する林啓介氏

城戸久枝氏特別講演とトーク

12月5日(土)あわぎんホールで、本学総合科学部卒業生の城戸久枝氏をお招きし、城戸氏の原作でNHKドラマにもなった『運かなる絆』を通して「家族の絆」を考へることをテーマにした講演とトークイベントが行われました。

当日は、青野学長の挨拶の後、第一部として、城戸久枝氏による「家族の絆―愛媛・牡丹江―」と題した講演が行われました。続いて、第二部では、本学総合科学部の葭森教授の司会によるトークが行われ、ドラマの主人公でもある城戸氏の父「城戸幹氏(作家)」も松山から徳島へ来ていただき、中国残留孤児としての苦しい体験談や家族の絆について語っていただきました。会場の参加者四百人は、ほとんどがドラマを見られた方々で、幹氏の情感あふれるトークに涙ぐむ場面も見られ、感動を胸に焼き付けて会場をあとにしています。

記念音楽会

11月29日(日)徳島大学の長井記念ホールで、地元四国出身で現在は東京で活躍している木管五重奏団「アンサンブル・イヴロニー」を招いて、音楽会が催されました。

イヴロニーは、フランス語で酔っぱらいという意味で、音楽に酔いしれてもらいたいという願いを込めて名付けられたそうです。

ハイドンの名曲や本学総合科学部の宮澤教授の新作などが演奏され、多くの聴衆から盛大な拍手がおくられていました。

60周年記念